

令和3年度 那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画  
委員の評価集計及び総合評価

基本目標1 誰もが利用しやすい地域福祉の 仕組みづくり		判定			
		A	B	C	D
			16	1	
施策の方向性		判定			
		A	B	C	D
1	誰もが利用しやすい体制・情報提供の充実		17		
2	地域福祉のニーズキャッチの充実		17		
3	福祉サービスの充実と権利擁護の推進		16	1	

A：計画達成  
B：おおむね達成  
C：遅延  
D：未実施

施策の方向性 に対する評価
B
B
B

A、B、C、Dで評価

基本目標に対する 総合評価
B

A：順調に進んでおり、引き続き現状を維持していく。

B：おおむね順調だが、不十分な点もある。

C：推進できている部分もあるが、不十分な点が多い。

D：推進の方法も含め、改善が必要である。

小委員会の意見

- ・福祉総合相談窓口は、住民の方が利用しやすいように、情報提供する必要がある。
- ・ネグレクトや経済的虐待など、表面化しにくい課題も含めた権利擁護の必要性についてさらに検討を行う必要がある。
- ・コロナ禍でも地域によって取り組みに差が出ないように、さらに工夫する必要がある。
- ・ニーズキャッチ後に、しっかりと支援につなげる仕組みをさらに検討する必要がある。

令和3年度 那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画  
委員の評価集計及び総合評価

基本目標2 誰もが暮らしやすい生活環境づくり		判定			
		A	B	C	D
			17		
施策の方向性		判定			
		A	B	C	D
1	生活環境の充実	1	16		
2	防災・防犯体制の充実		17		
3	地域での居場所づくり、活躍の場づくり		17		
4	地域における見守り体制の充実		17		



A：計画達成  
B：おおむね達成  
C：遅延  
D：未実施

施策の方向性 に対する評価
B
B
B
B



A、B、C、Dで評価



基本目標に対する総合評価
B

A：順調に進んでおり、引き続き現状を維持していく。

B：おおむね順調だが、不十分な点もある。

C：推進できている部分もあるが、不十分な点が多い。

D：推進の方法も含め、改善が必要である。

## 小委員会の意見

- ・空き家対策について、治安や防災に不安があるため、対策を検討してほしい。
- ・災害時、障害によっては避難が困難な方もいるため、災害時の避難について検討を行う必要がある。
- ・ゆーバス、ゆータク等の更なる利便性の向上やタクシー券の対象者の検討など、移動に不便を感じている方への支援を検討してほしい。
- ・配食サービス等、サービスを年齢等で縦割りに区切るのではなく、既存サービスを必要な方に柔軟に提供できるよう検討する必要がある。
- ・外国人やひきこもりの方等の活躍の場づくりについて、さらに検討を行う必要がある。
- ・市内の歩道をどのようにバリアフリー化していくかということを福祉的な視点で長期的に計画を立てて、その進捗状況を評価する必要がある。

令和3年度 那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画  
委員の評価集計及び総合評価

基本目標3 みんなで支え合う、意識づくり、 人づくり、つながりづくり		判定			
		A	B	C	D
			16	1	

  

施策の方向性		判定			
		A	B	C	D
1	お互いを理解し、尊重し合える環境づくり	1	15	1	
2	地域福祉活動の担い手の育成		16	1	
3	地域でのつながりづくり		16	1	

A：計画達成  
B：おおむね達成  
C：遅延  
D：未実施



施策の方向性 に対する評価
B
B
B



A、B、C、Dで評価



基本目標対 する総合評価
B

A：順調に進んでおり、引き続き現状を維持していく。

B：おおむね順調だが、不十分な点もある。

C：推進できている部分もあるが、不十分な点が多い。

D：推進の方法も含め、改善が必要である。

小委員会の意見

- ・ コロナ禍で交流が難しいが、オンライン等も活用して、訪問しなくても交流できる方法を検討してほしい。
- ・ 障害を持っている方への理解をさらに進める必要がある。
- ・ 認知症サポーターの養成は進んでいるが、今後は、活用方法について検討を行う必要がある。
- ・ ひきこもりサポーター等、色々な困りごとを抱えている方を支援するための担い手づくりのための研修や養成を進めていく必要がある。
- ・ 教育関係と福祉関係の連携をさらに進める必要がある。
- ・ 災害はいつ発生するかわからないので、コロナ禍の今だからこそ対応策を考えておく必要がある。コロナ禍でのつながりづくりについて検討してほしい。